

# YIA Newsletter

Spring  
2024  
TAKE FREE

公益財団法人 山梨県国際交流協会



多様性を認め合い、  
自分らしく暮らせる  
山梨を目指して

男女共同参画 × 多文化共生

12/2~3 開催

# ぴゅあフェスティバル 2023

— 多様性を認め合い、自分らしく暮らせる山梨へ —

令和5年4月から(公財)山梨県国際交流協会が甲府市朝気のぴゅあ総合に移転し、男女共同参画推進センターと、国際交流・多文化共生センターが複合化されたことを機に、初めての合同イベントとして「ぴゅあフェスティバル2023」が、令和5年12月2日(土)、3日(日)の2日間で開催されました。

国籍、性別、年代を超え、さまざまな文化を感じることができるイベントを目指し、県内の国際交流・国際協力、多文化共生に関する団体等の皆さまによる出展やパフォーマンスの披露のほか、いしいそうたろうさんをファシリテーターに、「ジェンダー」と「暮らし」についてのトークショーも行われました。



12.3 sun 13:00~15:00

## 外国人住民の皆さんと語る「ジェンダー」と「暮らし」ファシリテーター いしいそうたろうさん

山梨に暮らす外国人は、2023年6月時点で112の国と地域から2万人を超えました。多様化は年々進み、人数は過去最高を更新しています。

「山梨住みます芸人」として、ご自身も2011年から山梨での暮らしをスタートさせた、いしいそうたろうさんに、ご家族との山梨での現在の暮らしについてもご紹介いただきながら、さまざまな文化や言語を持つ県内の外国人住民3名の皆さんと、ジェンダーに対する考え方や、山梨の暮らしについてお話しいただきました。



ブラジル出身で来日30年、医療通訳としても活躍しながら、県内の小学校に通訳として勤務する赤池ミツエリさんからは、ブラジルと日本では、学校や家族に対する考え方が大きく違う。例えば、個人のライフイベントを大切にするブラジルでは、誕生日は学校を休み家族と過ごすのが一般的。「すべてを日本流にさせるのではなく、文化の違いを知り理解して受け入れてほしい部分もある。」そして、日本人の夫について、「まるで武士のような厳格な夫に文化の違いを感じながらも、30年かけてやっと家事に参加してくれるようになったのはとてもうれしいこと。」と話し、「外国人は日本の文化や習慣を知らないだけ。日本の文化を当たり前と思わずに、遠慮しないで文化を通訳するつもりで優しく教えてあげて欲しい。」というメッセージを残してくれました。



赤池ミツエリさん

甲府市内で英会話教室を主宰するリトアニア出身のオヴィディコス ウリスさんは、結婚を機に来日して7年。子どもと過ご

す時間を大切にしたいと、毎週月曜日に保育園を休ませて一緒に過ごすことを提案したところ、日本の家族に反対されたというエピソードを紹介し、「社会的な基準やルールを守ることが一番の基準になる日本社会と、家族と過ごす時間を何よりも大切にしながら個性を尊重する海外の文化とは異なる部分が多いが、お互いに歩み寄りながら暮らしていくことが大切。」と話してくれました。



オヴィディコス ウリスさん

また、県内の高齢者施設において看護職員として勤務する、来日7年のファム ティ ベーさんからは、来日当初は日本語は曖昧な表現が多いと感じ、どうしてもはっきり答えを言わないのかと戸惑うことも多かったが、日本での暮らしが長くなってきたいま、「どうでしょうね。」「そうかもしれませんね。」などやんわりとした表現について、「とても便利に感じ、今では私もよく使っています。」と会場を沸かせていました。



ファム ティ ベーさん



いしいそうたろうさん

いしいそうたろうさんと3人の、軽快なトークと和やかな雰囲気会場全体が引き込まれたひとときとなりました。

「それぞれの文化や考え方について、知らないことを前提にお互いが知ろうとすることが大切。ジェンダーについても同じだと思う。今日は皆さんとさまざまな意見を共有できて本当によかった。」といういしいそうたろうさんの言葉が心にのこりました。

「ぴゅあフェスティバル2023」にご来場いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

参加・協力団体等(敬称略) ※国際交流・多文化共生センター関係団体のみ

JICA横浜、山梨県中国語・国際交流会、多文化共生を考える会ハート51、日中交流情報センター、山梨日本語ボランティアの会、山梨台湾総会、韓サラン、ラゴ国際交流センター、HIAIDA GROUP、フェアトレード雑貨「ハーモニー」、グランドセル、未来への扉、ブラジル人学校「アルプス学園」、山梨インドネシア協会、東ジャワ州スラバヤ市アルヒクマー高等学校の皆さん、インドカレー「スリヤ」、ブラジリアンファースト&ソウルフード「KIOSK」、FUJIDネルケバブ、タイジャスミン、Carpe deiem (カルペディエム)

# 令和5年度 主な取り組みから

## 国際協力セミナー

### 映画上映会「おじいさんと草原の小学校」(7月30日)

国際協力への理解促進を目的に映画上映会を実施しました。独立戦争で戦った84歳の老人マルゲが、ペン(教育)の力を信じて学ぶ、実話をもとにしたお話でした。上映後は、元JICA青年海外協力隊(ケニア派遣)の松橋杏子さん(現 山梨県森林公園 金川の森副園長)に、現地の様子や人々の暮らしなど、ケニアの今を写真や映像などを通じてご紹介いただきました。



### バスツアー「JICA地球ひろばを訪問しよう!」

世界が抱えるさまざまな課題を知り、開発途上国と私たちとのつながりを体験することを目的に、貸し切りバスで新宿区市谷の「JICA地球ひろば」を訪問し、小学生から大人まで19人が参加しました。世界の現状や課題を学ぶ一日となりました。



### 「令和5年度 市町村国際交流協会等連絡会・市町村外国人支援関係者研修会」

(8月29日)

ぴゅあ総合で「令和5年度市町村国際交流協会等連絡会・市町村外国人支援関係者研修会」を行い、県や各市町村の担当者ら34人の皆さんにご参加いただきました。

今年度、移転とともに新たな体制となった、山梨県立国際交流・多文化共生センターや、やまなし外国人相談支援センターについて、また、山梨県における日本語教育の推進等について情報共有したほか、「市町村が取り組む多文化共生推進について」をテーマに、NPO法人 CTN(中信多文化共生ネットワーク)代表理事で、信州大学グローバル化推進センター教授の佐藤友則氏にご講義いただきました。



### 「外国人地域生活サポーター研修会・意見交換会」(9月9日)

中国、ブラジル、フィリピン、ベトナム、韓国、日本などの「外国人地域生活サポーター」(知事委嘱)の皆さんを対象に研修会・意見交換会を実施し、「コミュニティ通訳(サポーター)」の心構えと事例検討」としてNPO法人国際活動市民中心(CINGA)の新居みどりさんにお話いただいたほか、サポーターの皆さんが日頃の活動を通じて感じる思いや課題を共有しました。



### 第50回 信玄公祭り「三条夫人隊」

(10月28日)

県内の外国人住民(5カ国10人)の皆さんとともに、富永愛さんが扮する武田信玄公の「三条夫人隊」として信玄公祭りに参加しました。



### 「災害時外国人支援セミナー」

(11月11日)

かいてらす(山梨県地場産業センター)で「災害時外国人支援セミナー」を開催し、県やボランティア、外国人住民など約30人が参加しました。

さまざまな背景や国籍を持つ外国人住民の皆さんとの共生社会において、お互いが安心して暮らせるように、そして外国人観光客のみなさんにも安心して山梨を訪れてもらうためにも、命や生活に関わる情報の迅速な共有は、最も大切なことの一つです。



### 県民の日記念行事

(11月19日)

多文化交流の場を作ることを目的に、山梨に長く住むインドやペルー、ブラジル出身の外国人住民の皆さんにご協力いただきながら、小瀬スポーツ公園で行われた「県民の日記念行事」に出展しました。

県内の多文化共生に関するパネルを展示したほか、8カ国の衣装が試着できる「民族衣装体験」も行いました。



## 第89回甲府えびず講祭り「多文化交流ひろば」(11月23日)

1929年に始まり、今回で89回目となった「甲府えびず講祭り」に参加し、10カ国15人の外国人住民の皆さんがはっぴを着て、山梨県知事とともに御神輿を担ぎました。「多文化交流ひろば」では、多国籍キッチンカーや、シリア伝統工芸の販売などとともに、ブラジルのカポエイラ、日本の空手演武などの披露なども行いました。



## 交流運動会

(12月17日)

県内在住の大学生・留学生・技能実習生が相互の交友を広げることを目的に、県立青少年センターにて「交流運動会」を開催し、9カ国から約50人が参加しました。

山梨学院大学から4人、都留文科大学から3人、NPO Adovoから2人、山梨学院短期大学から2人の計11人の学生さんが、実行委員会として企画・準備から運営まで携わってくれました。



## 「外国人住民のための防災教室」

外国人住民のみなさんを対象に各市などと協力し「防災教室」を実施しました。災害が多い日本でもともに生活するうえで、防災の基本的な知識や災害への備えについて知ることはとても重要です。

- ・ユニタス日本語学校(7月6日 2回)
- ・南アルプス市日本語教室(10月19日)
- ・北杜市日本語教室(11月25日)
- ・甲府市日本語教室(11月25日)
- ・都留市日本語教室(6年1月14日)



## 自分らしく生きる共生社会を目指して～山梨県地域日本語教室レポート～

皆さんはこの1か月で何人の外国人住民の方と出会いましたか？

私たちは多様な文化背景を持つ人々とともに山梨で暮らしています。山梨県は外国人住民の日本語コミュニケーション能力の向上と地域住民同士の相互理解の促進を目的に、市町村が主催する日本語教室の立ち上げと運営を支援しています。本年度は甲府市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、笛吹市、上野原市で日本語教室が開催され、外国人住民280人、地域住民48人(8市合計)の皆さんが参加しました。生活におけるコミュニケーション日本語を日本語教師から学ぶほか、地域住民の方との対話や交流活動も行っていて、教室はいつも、参加する皆さんの真剣なまなざしと笑顔に溢れています。

互いの違いを知ることは、自分らしさを認め合う共生社会のスタート地点です。地域日本語教室は、これからも共生社会を体現する拠点とし

## 姉妹友好地域交流

### 「JASI アイオワ日米協会(JAPAN AMERICA SOCIETY OF IOWA)」と県立農林高校のビデオ交流

山梨県の姉妹友好地域である米国アイオワ州の「JASI アイオワ日米協会(JAPAN AMERICA SOCIETY OF IOWA)」と県立農林高校がビデオ交流を実施しました。県立農林高校の生徒たちが英語で作成した学校生活の紹介や和太鼓演奏のビデオは、この夏、JASIが開催したサマーフェスティバルにおいて披露され、JASIからも当日のイベントの様子やメンバーからのメッセージビデオが同校に届きました。

### 姉妹友好地域パネル展示

米国 アイオワ州、中国 四川省、韓国 忠清北道、ブラジル ミナスジェライス州、フランス ソヌ・エ・ロワール県、ベトナム クアンビン省のそれぞれの紹介パネルを作成し、令和5年12月2日、3日に、男女共同参画推進センターと共催で実施した「ぴゅあフェスティバル2023」内で展示しました。



### 異文化理解講座

さまざまな文化や習慣、歴史などを学ぶことを目的に、年間を通じて講座を開催しています。



### 国際理解教育促進支援事業

山梨県国際交流協会では、県民の皆さまの主体的な国際交流の取り組みを支援するため、海外から招致している国際交流員(カナダ、イギリス、ブラジル、ベトナム出身)の派遣を行っています。対象は、小学校・中学校・高等学校・短期大学・大学等の教育機関、県・市町村等の研修機関、生涯学習関連機関、国際交流団体などで、概ね20名以上の集まりが国際理解教育として実施する授業またはイベントとします。

異文化への理解を深める授業やイベントなどでぜひご活用ください!

お問合せ(公財)山梨県国際交流協会 Tel.055-228-5419

て、外国人住民と地域住民、市町村がともに協力し合い、誰にとっても居心地のいい「場」をつくり続けます。



〈山梨県地域日本語教室に関するお問合せ〉  
山梨県地域日本語教育総括コーディネーター  
古屋 玲子

TEL: 090-7705-7513(専用ダイヤル)  
〒400-0862 甲府市朝気1-2-2  
(公財)山梨県国際交流協会





日本から有志を募って集めた野球道具の贈呈式の様子



日本から有志を募って集めた野球道具を使い、キャッチボールをする様子



(左) 綱引きの様子 (右) 朝ご飯のフットボールの時間食べている栄養バー

日本から約9,000キロ離れた中東ヨルダンからこんにちは。私は、昨年の4月からヨルダンにあるパレスチナ難民キャンプ内の小学校で現地の先生方と体育の授業改善に取り組んでいます。実は2019年にも同じ学校で活動していましたが、コロナウイルスの影響により3カ月間での帰国を余儀なくされました。当時のやりきれない悔しい気持ちが心残り、3年越しに再びヨルダンへと戻ってきました。

学校の体育の授業は、用具が限られている事や教師の経験不足等からサッカーの試合のみとなっている状況です。また、私の学校がある難民キャンプは、ヨルダン国内にある10カ所のパレスチナ難民キャンプの中でも就業や教育、医療の面で大きな制限があり、厳しい環境で生活せざるを得ません。私はそんな環境下でもスポーツを通して彼らに夢や希望を持ってもらいたいと思い、道具を使用しないでできる運動は勿論、JICAの「世界の笑顔のために」プロ

グラムで、日本の有志から寄贈された野球道具を使い、キャッチボールを取り入れた授業も実施しています。

着任当初は日本の学校生活との沢山の違いに驚きました。例えば、午前10時にはフットボールという、朝ご飯を食べる時間が設けられていたり、子ども達も含め全員がイスラム教徒なので、お祈りを授業中に交代しながら行ったりと、日本とは違う光景を目にします。また、印象に残ったのが、「インシャアッラー」という考えです。アラビア語で「神が望むなら」という意味で、約束やお願いなど未来のことを語る時に添える言葉です。何かを成功させたい時や何かについて強く祈る時にも、神のご加護を（神が望みますように）と希望を込めて、よく口にします。現地の文化や考え方に違いはありますが、それらを理解し尊重しながら体育を通して彼らに夢や希望を持ってもらえるよう、今日も全力で活動に取り組んでいきます。インシャアッラー إن شاء الله

### JICA山梨デスク 宮本志穂



(公財) 山梨県国際交流協会内 〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 <https://www.jica.go.jp>  
Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473 <mailto:jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp>



JICA山梨デスクFacebookページ  
<https://www.facebook.com/JICAyamanashi/>



JICA横浜ホームページ  
<https://www.jica.go.jp/yokohama/office/suishinin.html>

けんないゆいいつ しょくぎょうしょうかいゆうりょうじぎょうしゃ  
県内唯一の職業紹介優良事業者です。  
しごと そうだんわりょう けんないざいしゅう かいこく かた  
お仕事相談無料です。県内在住の外国の方、  
きがる れんらく  
お気軽にご連絡ください！

LINE公式アカウントでも受付中 @398strhc

株式会社 アルビス  
☎0120-053-052 19-ユ-300065 派19-300008  
〒409-3822 中央市下三條550 やまなし転職・就職ナビ

1903001(01)

A-R-B-I-S

やまなしけんないがい しょうかい  
山梨県内外で“おしごと”を紹介します  
かんたん  
とうろくは いつでも簡単にできます  
English, Portugueseも対応できます  
Trend Co.,Ltd.  
株式会社トレンド

中巨摩郡昭和町河東中島1151-7  
☎0120-972-061  
<http://www.trendco.biz>  
【派23-301642 23-ユ-301187】

ビザ更新・外国人雇用・国際結婚・永住・  
帰化・技能実習生受入・有料人材紹介  
特定技能登録支援機関

中巨摩郡昭和町清水新居 1666  
TEL 055-233-0211

ビジネスサポート行政書士事務所

あなたに合ったお仕事紹介します！  
日本語が少し分かれば働けます。

19-300122 19-ユ-300091 中巨摩郡昭和町河東中島963-1  
株式会社ネクストエイジ ☎055-275-3216

【お仕事たくさんあります！】  
英語・ポルトガル語・スペイン語  
ベトナム語・タガログ語

つうやく 通訳 います

（働くを新しく。（未来）をアシスト。  
アシスト エンジニアリング  
<https://www.assisteng.co.jp>

（株）アシストエンジニアリング  
〒409-3841 山梨県中央市布施 2106-1  
☎0120-713-809

VISA・在留資格  
オンラインでも  
相談できます！

KAGAMI  
加々美行政書士事務所

palan AR

## オンラインで学べる

### 「やさしい日本語」入門セミナー

日時：2月8日(木)、16日(金)

16:00～17:00

※同日、同じ内容のセミナーです。

ご都合がいい日程をお選びください。

定員：各回30名

参加費：無料

講師：吉開 章さん

やさしい日本語ツーリズム研究会 代表



申し込み ▶

## やまなし多文化共生シンポジウム

### ■講演「出会いこそ生きる力」

俳優・タレント サヘル ローズさん

### ■パネルディスカッション

テーマ「多文化共生が拓く山梨の未来」

ファシリテーター：毛受 敏浩さん

(公財)日本国際交流センター 執行理事

日時：3月9日(土) 14:00～16:30

場所：山梨県立文学館 講堂

(甲府市真川1-5-35)

参加費：無料  
定員：350人



申し込み ▶

## 異文化理解講座

### Canadian Culture

2月18日(日) 10:00～11:30

### The History of English

3月17日(日) 10:00～11:30

場所：県立国際交流

・多文化共生センター 研修室

(びゅあ総合内 甲府市朝気1-2-2)

対象：英語での日常会話が可能の方

／中級レベル

受講料：無料

定員：12名(各回)

講師：エドワード

ハルバーソン

申し込み ▼



## やまなし外国人相談支援センター

Yamanashi Consultation and Support Center for Foreign Residents

外国人の皆さんからのさまざまな相談を受け付けています。

日本語がわからなくても大丈夫です。困ったら電話してください。

相談は無料です。

受付：火曜日から土曜日 9:00～17:00(祝日を除く)

場所：国際交流・多文化共生センター

TEL：055-222-3390



## 外国人のための無料法律相談(予約制)

Free Legal Consultation for Foreign Residents

弁護士が対応します。

日時：毎月第1水曜日 18:30～21:00

毎月第3土曜日 13:00～16:00

言語：英語 ポルトガル語 中国語 韓国語ほか

内容：不当解雇・労災、税金、年金、保険、医療、出入国、結婚など

場所：国際交流・多文化共生センター TEL：055-222-3390



## 山梨県国際交流・多文化共生ボランティア人材バンク

Volunteer Bank

通訳や翻訳、外国文化紹介、災害時外国人支援など、人材バンクに

登録いただける方を募集しています。また、県や市町村、

公的機関などからの依頼に応じて、紹介を行っています。



## 山梨県国際交流協会(YIA)フェイスブック

facebook

国際交流協会からのお知らせの他、県内の国際交流・国際協力、

多文化共生に関すること、多言語情報などを共有してい

きます。Facebookに登録していただくと閲覧が可能です。



## 山梨県国際交流協会(YIA) 会員募集中!

YIAの活動を支援していただくために、会員を募集しています。

年会費 個人2,000円 団体5,000円

会員特典 (会員期間：入会日から1年間)

会員特典

■ YIA主催の講座やセミナーほかイベントの案内をお送りします。

■ 機関紙「YIA Newsletter」(年2回)をお送りします。



## 県立国際交流・多文化共生センターのホームページが新しくなりました!

山梨県の国際交流や多文化共生に関する情報とともに、県内の外国人住民の方に向けた多言語またはやさしい

日本語による情報発信も行っています。 <https://www.pref.yamanashi.jp/kokusai-tabunka/index.html>



### 編集後記

山梨に暮らす外国人は2023年6月時点で2万人を超え、過去最高となりました。身近なコンビニやスーパーで見かけることも多くなり、実に多くの外国人住民の皆さんが、ともにこの山梨を支えていることに気づきます。「やまなし多文化共生シンポジウム」で現状を見つめ、上手なコミュニケーションを目指して「やさしい日本語」入門セミナーにぜひご参加ください。お待ちしております! 坂上

### YIA Newsletter 2024年 春号

編集/発行 公益財団法人 山梨県国際交流協会

〒400-0862 山梨県甲府市朝気1-2-2

TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473 受付時間 8:30～17:15

休館日 毎週月曜日(祝祭日を除く) および祝祭日の翌日、年末年始(12/29～1/3)

Email: webmaster@yia.or.jp